

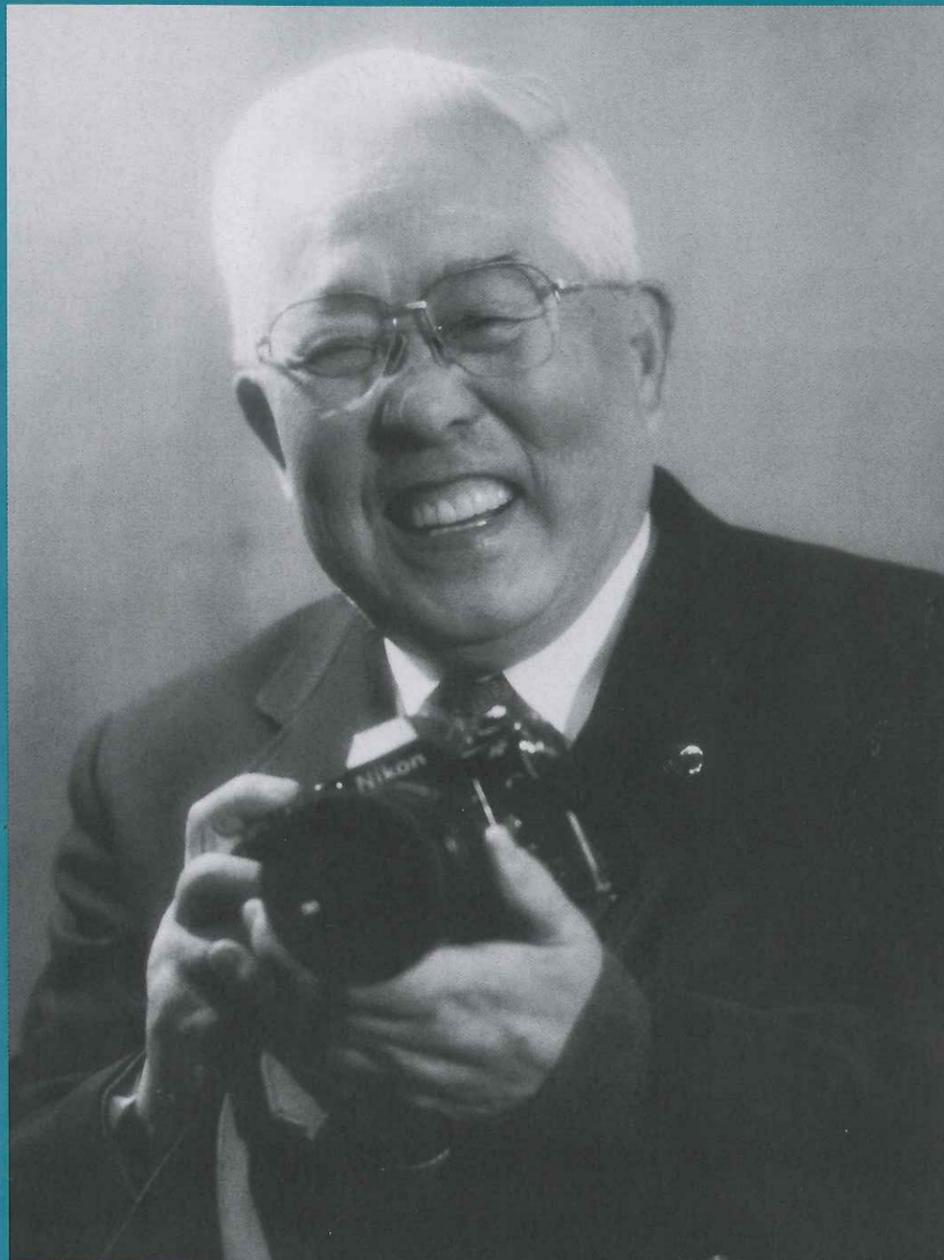


令和4年7月15日発行 (毎年7月・10月・12月・3月発行)

おちあい

第157号

責任者 谷口 俊顕 企画・編集 落合第二地域センター管理運営委員会 広報部
〒161-0032 新宿区中落合4丁目17番13号 Tel. 03-3951-9941 Fax. 03-3951-9310

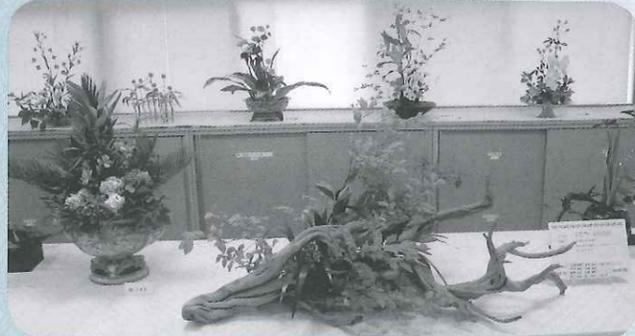


追悼 広報誌「おちあい」発起人代表 菅野廉一氏
(詳細はP4)

落合第二地域センター 2022展示イベント



絵画くらぶ おちあい(版画・絵画)



フラワーみちの会(生け花)



新婦人けやき班絵手紙



真墨会(書道)



まくらめの会(立体と壁掛け)



谷口会長

吉住区長



落合第二地区 民生・児童委員協議会(会の紹介)



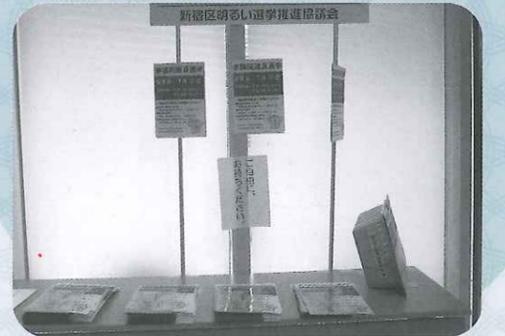
コミュニティ「おちあいあれこれ」(資料・写真)



けやき荘 レクの会(手芸品)



落合第二地域センター
管理運営委員会



新宿区明るい選挙推進協議会

コロナ禍で二年ぶりに開館イベントに代わる行事として、二〇二二展示イベントが六月十八日(土)、十九日(日)の二日間、一階の風除室と二階の展示スペースで開催されました。

参加団体は、落合第二地区民生・児童委員協議会、コミュニティ「おちあいあれこれ」、けやき荘レクの会、絵画くらぶおちあい、真墨会、フラワーみちの会、まくらめの会、新婦人けやき班絵手紙の八団体と、七月十日の参議院選挙を控え、新宿区明るい選挙推進協議会が参加。初日早々、吉住区長にご来場いただき、生け花、絵手紙、版画、書道や写真等の展示をご覧いただきました。

密を避けるため、空間を広く取る等の工夫を施したことで、来場者はゆったりと見学を楽しんでいる様子でした。三日間で来場者は一五八名でした。

落合第二地域センター管理運営委員会 令和四・五年度新委員(敬称略・五十音順)

- | | | | | |
|--|--|--|---|--|
| <p>企画部</p> <p>部長 長倉健一
副部長 藤田浩毅
庶務 駒木淑恵
庶務 曾根田三和
庶務 山口春代</p> | <p>総務部</p> <p>部長 小野田利春
副部長 佐藤欣也
庶務 杉並洋志
庶務 赤池勝夫
庶務 大久保京子
庶務 小笠原英二
庶務 白井健太郎
庶務 中島クニ江
庶務 沼崎アキ子
庶務 原田隆子
庶務 三浦久美子
庶務 三栖邦博
庶務 山崎英明</p> | <p>役員</p> <p>会長(総務部) 谷口俊顕
副会長(企画部) 石井和美
副会長(企画部) 大原光子
副会長(企画部) 田畑真紀子
副会長(企画部) 田淵さゆ子
監事(総務部) 増田和子
監事(企画部) 鹿倉敏子</p> | <p>広報部</p> <p>部長 小野田正治
副部長 工藤広子
庶務 佐治雪江
庶務 藤川裕子
庶務 八木義江
庶務 五十嵐ゆかり
庶務 池永珠子
庶務 岩崎文子
庶務 岡部朋子
庶務 北野清治
庶務 木戸由紀
庶務 高阪三枝子
庶務 竹内亜也
庶務 戸津和子
庶務 奈良田笑加
庶務 林有美
庶務 福井味加
庶務 水永一乃
庶務 森緑
庶務 藁科文字</p> | <p>青木礼子
岩淵千鶴子
宇治田明子
小笠原良徳
多部田里志
辻村扶美子
野口卓也
村岡純</p> |
|--|--|--|---|--|

「おちあい」の父が愛した風景 菅野廉一氏追悼〜感謝の気持ちを地域から伝えたい

「おちあい」創刊号からの編集責任者で、表紙タイトルを揮毫された菅野廉一さんが昨年逝去された。百一歳だった。

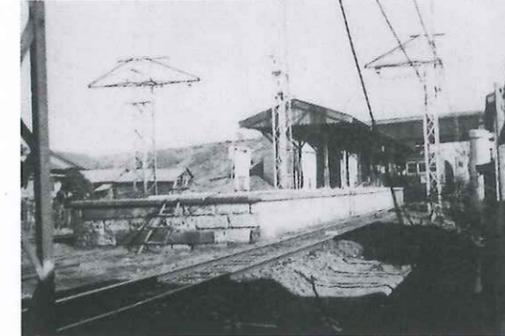
大正八年（一九一九年）大分県に生まれ、落二小の第七回卒業生だった。府立第四中学校（現戸山高校）から陸軍士官学校卒業後、鉄道連隊としてタイとビルマを結ぶ泰緬鉄道建設作業にかかわった（映画「戦場に架ける橋」が有名になったがあくまでフィクションのようだ）。戦後は中井一丁目の妙正寺川岸で写真店を経営し、カメラマンとして落二小、落五小の行事にも付き添っていた。長い事、中井町会長を始め、地域の役職を快く引き受けてくださった。

お店のウインドウには戦後になって何度も訪れたミャンマーの写真が飾ってあった。いつもニコニコしていた笑顔が忘れられない。ご冥福をお祈り申し上げます。

（「おちあい」編集 高阪 三枝子）



千人針 昭和17(1942)年8月撮影



島ホームの中井駅 昭和23(1948)年頃撮影



新宿高層ビルを望む 平成4年(1992)年8月撮影

時代が昭和から平成に変わる時、区のコミュニティ施策として落合第二地域では、地域広報誌の編集スタッフの募集があり、地域の歴史などを調べるスタッフもあわせて募集されました。

私は歴史調査部門に応募して、後にコミュニティ「おちあいあれこれ」となったスタッフの一員として活動を始めました。菅野廉一さんは、リーダーとして広報誌の編集と歴史調査の両方に関わられました。

地域のことを調べるにあたり、写真店をされていた菅野さんは、集められた貴重な写真や資料を複製したり、自分の撮った古い写真も提供してくださいました。成果が、「おちあいよろず写真館」などの記録として冊子にのこせたのは、菅野さんがいたからこそのことだと思います。ありがとうございました。

（コミュニティ「おちあいあれこれ」代表 武井 雅宏）

百歳の時の廉一氏の写真を提供してくださった、ご子息の菅野節男さんが語ります。

「父が、長く戦跡を訪問していたことは、子どものころから知っていたのですが、ここの十五年ぐらいいですかね、父の付き添いをするようになって、お仲間に入れていただいています。機関車C5631号保存会」と言います。世間には結構鉄道好きの方々が多くて、会に父の年代はもうわずかしが残っておりませんが、若いメンバーに支えられて盛んに活動しています。実は、タイから帰還したもう一両同型C5644号が現役で大井川鐵道を走っています。」（戸津和子聞き書き）



タイから帰還した機関車C5631号の前で、菅野廉一氏百歳。（靖国神社にて）

※おちあいよろず写真館 コミュニティ「おちあいあれこれ」十五周年記念写真資料集として、二〇〇三年一月発行 菅野さんは編集に関わり、撮影写真も多数提供



おちあいよろず写真館

まちの資料、読書コーナー

落合第二地域センター二階には『まちの資料・読書コーナー』があります。机といすの配置された読書コーナーは、自身やお子様たちが受験勉強に通ったという方も多いのではないのでしょうか。コロナ禍の今も距離をとりながらみなさんが利用されています。

壁面にはおちあいの文化人マップ、古農村地図などが飾られているほか、机上には『おちあい見聞録』、『おちあいカルタ』、『おちあいよろず写真館』など「おちあいあれこれ」が作成した冊子をはじめ、地域の冊子が並び自由にみる事ができます。また広報誌「おちあい」のバッグナンバーのファイルもあります。

書架には三十年余にわたり収集した地域の資料や書籍があります。これらの貴重な資料は、おちあい地域外から閲覧に訪ねてくる方も多く、イベントや公開講座などで紹介されています。資料コーナーをまだ見たことがないという方はぜひ二階をのぞいてみてください。

（藤川 裕子）



美しい日本の四季 夏の句 —落二句会—

七夕やコロナ退治の願ひ込め
行く夏や銀座ぶらぶら昭和恋ふ
（上田 悦三）

八十才線香花火が弾けとび
黒南風や刈込み鋏歯切れ良し
（井手 捷之）

紫陽花やD151通る和紙の町
鬢付の匂ふ船宿花火の夜
（宇田川 典文）



「落二句会」は、落合第二地域センター登録団体として本年五月に発足しました。

まちじまん ホビーセンター KATO

近い巨大ジオラマ。電車や新幹線が走る様子に、大人も子どもも夢中になる。ここは「誰もが子どもに戻って楽しめる場所」。

2階はソファやキッズコーナーもあり、落合散歩にもオススメ。展示・販売を始め、イベントやワークショップも楽しめる落合自慢のスポットだ。

落合南長崎駅から徒歩6分、目の前に赤い電車が現われる。ここは、鉄道模型のライブスポット、ホビーセンターカトー。一九八一年に西落合にオープンし、二〇一四年のリニューアルを経て、今では地域を越えて親しまれている。中に入る真っ先に目に入る10m

【ホビーセンターカトー東京】
新宿区西落合1-24-10(駐車場あり)TEL:03-3954-2171
平日11:00~20:00/土日祝10:00~19:00
最新情報はTwitterから→@katoshoptokyo



（取材・文 林有実）



落合第二中



修学旅行

第三学年は、5月29日（日）～31日（火）にかけて、修学旅行で奈良・京都へ行ってきました。コロナ禍で様々な行事の制限が強いられてきたこの学年にとって、今回、中学校で初めての宿泊的行事としての実施はなにより待ち遠しいものでした。

「行ってきま～す！」という元気な声で東京駅を出発し、初日は、奈良をクラスごとに巡り、法隆寺、薬師寺、東大寺を見学しました。特に薬師寺の法話では、お坊さんのテンポのよい話に全員がぐっと引き込まれて、『自分の考え次第で、未来は明るく切り開いていくことができる』というアドバイスに、真剣な眼差しを向けている姿がとても印象的でした。2日目は公共交通機関での京都班別行動、3日目はタクシー行動を行いました。事前に調べた名所や仏像を直接自分の目で感じることで、美しさやたずまいに感心する声がたくさん聞こえてきました。天候も当初の予報より恵まれ、生徒・教員にとっても一生の思い出に残る修学旅行になったと思います。これから事後学習で、行動班ごとにフォトブックを作成します。個性あふれる魅力的な作品が出そうことも楽しみです。

スローガンの『そうだ！～教科書から飛び出して～仲間とつくる新たな物語～』にあるように、学年として、クラスとして、集団行動での規律を守ることや協力し合うことの大切さを再認識し、そして、友達どうしの絆を深めることができた二泊三日となりました。引き続き、正しい判断と行動ができる最高学年として過ごして行ってほしいと強く願っています。保護者の皆様、ご準備から多くのご協力をいただきまして、ありがとうございました。

三学年主任 新海 誠



奈良公園「鹿と戯れ 心癒され」



薬師寺「自分の考え次第で未来は開ける」



伏見稲荷「連なる鳥居 幻想的な空間」



三十三間堂「多くの仏像には自分に似た像が」



落合第六小



新しい伝統をつくる～おちろくDASHの取組～

桜咲き誇る4月6日、1年生51名が入学し、全校児童256名で令和4年度が始まりました。コロナ禍で三回目の入学式となり、今年度も児童と保護者のみ参列の式となりましたが、6年生の代表児童の歓迎の言葉やクイズなどもあり、心温まるスタートが切れました。

4月末には、本校の特色ある教育活動の一つである～たてわり創造活動「おちろくDASH」～もスタートしました。毎年6年生が中心となって今年度のテーマを決め、各班でそれぞれの活動をすすめていきます。昨年度は、「地球を救い、みんなの思いをつないで幸せな未来をつくろう」というテーマの下、SDGsを意識した活動に取り組み、コンポストを利用した肥料作りや、ごみの分別ゲーム、壊れた傘を使ったエコバッグ作り、リサイクルおもちゃ作りなどの活動を行いました。

今年度は、そのスタートとなるKICK OFF会議にあたり、6年生が「落六らしさ」について話し合いました。「自然が多い、みんな元気で仲がいい、個性豊か」の他に、「落六オリジナルがたくさんある、自分たちで決められる、一人のアイデアが学校を動かすことがある、地域との関わりがある、新しい伝統をつくれる」などがあげられました。今後、今年度の軸となるテーマを決め、各班での活動がはじまります。今年度からは、低・中・高学年の三部門に分かれて、下学年の児童の活躍の場もさらに増やしていく予定です。

ここ二年間はコロナ禍で、DASHの活動の発表の場でもあるオープンスクールが、校内のみの活動となってしまいましたが、今年度こそは地域の皆さまにも参加していただき、一緒に新たな伝統を作り上げていけたらと思っています。子どもたちの発想と意欲を最大限フォローし、発展させていけるよう、ご助言、ご協力をお願いすることもあるかと思いますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

副校長 村上 珠子



令和4年度入学式



1年生をむかえて、第1回おちろく班遊び



おちろくDASH KICK OFF会議



落合第五小



落合地域のみなさまへ
新任副校長のご挨拶



副校長 野島 泰一
前任校 練馬区立立谷小学校

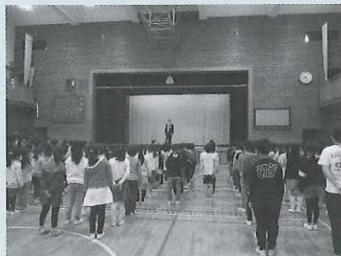
歴史ある落合地域の皆様、初めまして。落合第五小学校の副校長になりました野島泰一（のじま たいち）です。新宿区というと大都市で緑もあまりないという勝手なイメージを持っていました。しかし、落合地区は妙正寺川や落合公園など、都心の中にも自然が豊かでとても落ち着いた空気感のある地域の学校に赴任できたことを心から嬉しく思っています。

今は落五小地域を中心に保護者や地域の方々とは少しずつ交流をさせていただいています。朝の登校や朝遊びの見守りをしてくださる方々、PTAの方々、地域協働学校運営協議会の方々など落五小のためにたくさんの温かいご支援をいただいていることを日々実感しています。他の落合地区の各小学校でも同じように温かくも頼もしいお力添えがあるのだろうかと想像しています。

今年度は、これまで中止や延期となっていた催しの多くが実施される方向で計画をされていると思います。これまでのコ

ロナ禍とはまた違ったフェーズに入り、まさにウィズコロナの段階になってきたと考えています。今年度、本校では1年生を迎える会や委員会紹介集会などの行事を久しぶりに体育館で行いました。子どもたちの成長のために、学校行事はとても重要な役割を果たしていることを改めて感じました。地域行事もきっと同様なのだと思います。新型コロナウイルス感染症が収束するまでまだ時間はかかりそうですが、落合地域の伝統を引き継ぎつつ、新たな時代に合った学校行事や地域行事の在り方等を皆様と共に考えていけたらよいなと勝手に思っております。

落五小の子どもたちの健全育成を通して、この地域に貢献できるよう頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。



全校朝会



委員会紹介集会



1年生を迎える会



落合第三小



1年生53人が仲間入り～令和4年度落三小始動！～

朝、正門に立っていると、「おはようございます。」という明るい元気な声が聞こえてきます。黄色い帽子に大きなランドセル、毎日元気に登校する1年生の朝の挨拶です。

落合第三小学校は、53名の新1年生を迎え、令和4年度がスタートしました。

<学校探検に出発>

廊下を2列で静かに歩く1年生の姿が見えてきました。

「ここが職員室だね。副校長先生が電話をしている。」

「図書室には、本がいっぱい。早く絵本が読みたいな。」

校内を回る1年生の表情は、真剣そのもの。おしゃべりしている子は、誰一人いませぬ。毎日経験する初めての学習にみんな興味津々。明日は何を勉強するのか？



屋上探検中

<初めての給食>

カレーのいい香りが教室まで漂ってきます。チキンカレー・コールスローサラダ・アップルゼリー・牛乳、待ちに待った給食の始まりです。お昼の時間が待ち遠しい1年生。4時間目終了のチャイムとともに給食の準備が始まりました。きちんと手洗いをしました。給食当番の配膳も上手にできました。

「いただきます。」コロナ禍、全員が前を向いての黙食です。でも、みんなの顔は、にこにこ笑顔。もりもり食べて、元気いっぱい1年生になってほしいです。

<1年生を迎える会>

好天の下、校庭で『1年生を迎える会』を実施しました。上級生の温かい拍手の中、緊張しながらも嬉しそうに1年生53人の登場です。「毎日楽しく過ごしていますか？分からないことがあったら、何でも聞いてください。」という6年生の心強いあいさつに始まり、和やかな雰囲気の中、会は進みました。

1年生代表児童の「ランドセルを背負って、友達と学校に来るのが楽しいよ。」という言葉が印象に残っています。

これから体験する様々な初めての心わくわくの1年生を落三小みんなで見守っていきます。



代表児童のこぼれ

副校長 諏訪部 浩志

今年こそみんなでコミスポ!
コミュニティスポーツ地区大会

申込書は落二特別出張所で九月から配布予定

日程：十月二十三日(日)

会場：落合第五小学校

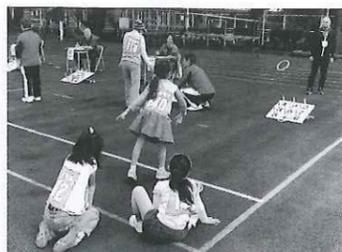
種目：輪投げ・ポッチャ・パン食い競争等を
予定

※新型コロナウイルス感染症予防の観点から種目が変更となる可能性があります。

申込：九月上旬から落合第二特別出張所で申込書を配布する予定です。ふるってご参加ください。



パン食い競争



輪投げ



ポッチャ

第二十一回 目白学園遺跡フェスタ

【日時】七月二十三日(土) 午前十一時～午後四時

【会場】目白学園(正門より入場)

【内容】土面づくり・まが玉づくり・火おこし体験・考古資料紹介・貫頭衣を着てみよう

※内容は変更になる場合があります。

【講演会】午後一時三十分から

「モースと大森貝塚」

※内容は変更になる場合があります。

詳細につきましては目白大学ホームページをご覧ください。

【お問い合わせ】

目白大学地域連携・研究推進センター
電話(5996) 3121

落合第二地域センター
ワクチン接種情報

令和四年の七月(水・木・金)および八月(木・金)は、落合第二地域センター二階の大会議室と小会議室が、新型コロナウイルスワクチンの四回目集団接種会場となっております。

なお、四回目接種では、接種日であっても右記の会議室以外の部屋は利用が可能です。また、三階多目的ホールは七月から貸出を再開しています。

利用者の皆様には、これまでに引き続き、ご不便、ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。

四回目接種の詳細については、新宿区のホームページをご確認ください。

ご入園・ご入学おめでとう

令和4年5月1日現在

幼稚園	落合第三幼	12人
	落合第四幼	12人
小学校	落合第一小	103人
	落合第二小	73人
	落合第三小	53人
	落合第四小	66人
	落合第五小	33人
中学校	落合第六小	51人
	落合中	77人
	落合第二中	108人

新所長 いぬいあつこ

落合第二特別出張所

浅野

祐介



四月一日付で落合第二特別出張所長に就任しました。

目となり、改めて地域のつながりの大切さを感じております。

歴史、文化、緑の薫り豊かな落合第二地域が、より一層暮らしやすい地域になるように、職員とともに全力で課題解決に取り組みます。どうぞよろしくお願いたします。

コミュニティ誌「おちあい」は全て再生紙を使用しています。